

令和3年度 第1回八尾市総合計画審議会  
議事録

日 時：令和3年11月22日（月）19時00分～20時45分

場 所：八尾市役所8階 第2委員会室

出席者：和泉委員、和田委員（W e b参加）、稲葉委員、河上委員、伊藤委員、大本委員、川崎委員、川野委員、椎野委員、野村委員（W e b参加）、石村委員、辰巳委員、事務局（関係課含む）

※委員名は号数順の五十音順

欠席者：築澤委員、斧田委員、足立委員

1. 開会

**事務局**

ただいまより令和3年度第1回八尾市総合計画審議会を開催いたします。

会議につきましては、新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、対面とW e bの併用で開催いたします。

まず、会議の開催にあたりまして、大松桂右市長より一言ご挨拶を申し上げます。

2. 市長挨拶

**大松市長**

皆さん改めましてこんばんは。

本日、審議会を開催いたしましたところ、日中のお仕事の疲れの中、またお足元の悪い中、ご参集をいただきまして、誠にありがとうございます。

本日はW e bでもご参加いただいております、皆さんにおかれましては、八尾市市政全般にわたりましてご理解ご協力いただいておりますことを、この場をお借りいたしまして、厚く御礼を申し上げます。

また昨年度は、第2期八尾市総合戦略の策定にもご尽力をいただきまして、重ねて感謝を申し上げます。

地方創生という名のもとで、各自治体におきましては、それぞれの事業に取り組んでおられることだと思います。本市においては、新型コロナウイルス感染症の陽性者数はゼロが続いておりますが、まだまだ第6波はどうなるかわからないといったような状況には変わりはありません。

しかしながら、今後コロナと共存しながら反転攻勢をかけていこうと、様々な分野におきまして、各事業に今取り組んでおるところでございます。

そんな中で皆さんのような経験豊富な方のご意見を参考にさせていただきながら、八尾を選ばれるまち、また住み続けたいまちになるように発展させていきたいと考えておりま

すので、皆さんには大変ご苦勞をおかけすることとなりますが、是非ともご理解、ご協力いただきますことを心からお願いを申し上げまして、簡単ではございますが、私からのご挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしく願いいたします。

それでは、引き続きまして、市長より委員の委嘱をさせていただきます。代表しまして、阪南大学国際観光学部の和泉大樹様、前へよろしく願いいたします。

## 大松市長

和泉大樹様、八尾市総合計画審議会委員を委嘱する。令和3年11月22日 八尾市長  
山本 桂右

よろしく願いいたします。

(委嘱状交付)

## 事務局

ありがとうございました。

なお、本来でしたら、委嘱状をお一人お一人にお渡しさせていただくべきところではございますが、会議運営の都合上、机上にご用意させていただいております。また、Webでご参加の委員の皆様へは後日送付させていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

それでは、大松市長はここで退席させていただきます。

## 3. 委員紹介および事務局紹介

### 事務局

まず、委員の皆様をご紹介させていただきます。なお、ご紹介とお座席につきましては、委員の号数ごとに五十音順とさせていただきます。

委員の名簿を、資料1として配布させていただいておりますので、併せてご覧ください。

阪南大学 国際観光学部 教授の和泉（いずみ）委員でございます。

大阪学院大学 経済学部 教授の和田（わだ）委員でございます。本日Webでご参加いただいております。

布施公共職業安定所 所長の稲葉（いなば）委員でございます。

経済産業省 近畿経済産業局 地域経済部 地域経済課 地域開発室  
室長の河上（かわかみ）委員でございます。

大阪府 商工労働部 商工労働総務課 企画グループ 課長補佐の築澤（つきざわ）委員  
におかれましては本日ご欠席です。

株式会社 日本政策金融公庫 東大阪支店 支店長兼国民生活事業統括の伊藤（いとう）委員でございます。

大阪シティ信用金庫 八尾営業部長の大本（おおもと）委員でございます。

株式会社りそな銀行 八尾支店 支店長の斧田（おのだ）委員におかれましては本日もご欠席です。

株式会社 ジェイコムウエスト かわち局 局長の川崎（かわさき）委員でございます。

八尾商工会議所 事務局次長の川野（かわの）委員でございます。

株式会社池田泉州銀行 八尾支店 支店長の椎野（しいの）委員でございます。

大阪糖菓株式会社 代表取締役社長の野村（のむら）委員でございます。本日Webでご参加いただいております。

市民委員の足立（あだち）委員におかれましては本日もご欠席です。

市民委員の石村（いしむら）委員でございます。

市民委員の辰巳（たつみ）委員でございます。

委員15名のうち、12名の委員にご参加いただいております。資料2の八尾市総合計画審議会規則第7条第2項に記載の、本審議会の開催要件である、委員の過半数の出席を満たしており、会議が成立していることをご報告いたします。

（事務局の紹介）

#### 4. 会長、副会長の選任

##### 事務局

資料2の八尾市総合計画審議会規則の第5条において、「審議会に会長及び副会長を置き、委員の互選により定める。」となっております。

つきましては、委員の互選をお願いしたいと考えますが、いかがいたしましょうか。

##### 伊藤委員

学識委員の方をお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。

##### 事務局

それでは、委員の方からのご発言により、会長に和田委員、副会長に和泉委員、いずれも学識委員でいらっしゃいます、このお二人をお願いしたいと存じますが、いかがでしょうか。

（異議なしの声）

## 事務局

ありがとうございます。それでは、ただいま、会長は和田委員、副会長は和泉委員にお願いすることを決定いたしました。

会長と副会長が決定いたしましたので、和田会長、和泉副会長からご挨拶をいただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

## 和田会長

大阪学院大学の和田でございます。本日第1回の審議会は対面ではなくWebでの参加となりましたけれども、精一杯司会進行を努めたいと思っております。

心強い副会長の和泉先生もいてくださいますので、何かトラブル等が起きましたら、和泉先生にお願いをしたいと思っております。

私はタイムキーパー、それから皆さんの意見をまとめる役目だと思っております。

精一杯努めたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## 和泉副会長

改めまして阪南大学国際観光学部の和泉と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

和田会長をお支えしながら、皆様方と八尾の皆様にとって有意義となる審議を進めて参りたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

## 事務局

ありがとうございました。ここからは、進行を和田会長にお願いしたいと思っております。

それでは、和田会長お願いします。

## 5. 会議の公開について

### 和田会長

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。次第5. 会議の公開について、事務局、ご説明をお願いします。

### 事務局

会議の公開についてご説明いたします。資料3 会議の公開に関する指針をご覧ください。指針3により、審議会等の会議は原則公開とし、指針4により、審議会等の会長等が会議に諮って決定しなければならないと規定されています。また、指針5により、会議資料、会議録を閲覧に供しなければならないと規定されています。

したがって、指針3の1)～3)の例外規定に該当する場合を除き、本審議会、会議資料、会議録について公開にしたいと考えておりますので、ご検討よろしくお願いいたします。

## 和田会長

事務局より説明がありましたが、本審議会を公開とすることにご異議ありませんか。

(異議なしの声)

## 和田会長

異議なしと認め、本審議会、会議資料、会議録について、原則公開とします。

## 事務局

本日は傍聴者はおりませんが、次回からは、傍聴者がおられた場合、会議の開始時点から傍聴者席にご着席いただきます。

## 6. 議事

(1) これまでの地方創生・総合戦略の経過について

## 和田会長

それでは、次第6. 議事(1) これまでの地方創生・総合戦略の経過について、事務局、ご説明をお願いします。

## 事務局

議事(1)のご説明の前に、まず、議事全体について簡単にご説明させていただきます。次第をご覧ください。本日は(1)から(4)まで議事がございしますが、

議事(1)については、今後の議論のために、地方創生や総合戦略について、これまでの経過等をご説明するもので、審議いただくものではありません。

議事(2)については、昨年度の総合戦略の進捗について、指標の実績値のご説明です。後ほど詳しくご説明いたしますが、第1期の総合戦略は昨年度に総括を終えているため、第1期の最終年度を終えて、指標の結果のご報告とお考え下さい。

議事(3)については、例年審議いただいている議事で、昨年度の地方創生交付金活用事業の効果検証です。

議事(4)については、今後に向けた事業の立案等について、皆様から様々なご提案やご意見を賜ればと考えており、本日、特にご議論いただきたい議事と考えております。

それでは改めまして、次第6. 議事の(1) これまでの地方創生・総合戦略の経過について、ご説明いたします。

(資料4説明)

## 和田会長

ただいま、これまでの地方創生・総合戦略の経過について、事務局より説明がありました。説明にもありましたように、こちらは、特に審議を要するものではなく、新しく委員になられた方もおられるため、この後の議論に向け共通の認識を持つため、事務局より経過説明いただいたものと思います。

不明な点や確認したい点があれば、挙手をお願いいたします。

特にございませんでしょうか。

## (2) 令和2年度 八尾市総合戦略の進捗について

### 和田会長

それでは、次第6. 議事の(2) 令和2年度 八尾市総合戦略の進捗について、事務局、ご説明をお願いします。

(資料5 説明)

### 和田会長

ただいま、令和2年度 八尾市総合戦略の進捗について、事務局より説明がありました。説明にもありましたように、第1期総合戦略につきましては、昨年度に第2期総合戦略を策定するにあたり、5年間の計画期間における取り組みについての総括を終えております。よって、令和2年度が計画期間の最終年度でしたので、最終的な指標の実績値と目標値を比較してご報告いただいたものであると認識しております。

不明な点や確認したい点があれば、挙手をお願いいたします。

特にございませんでしょうか。

## (3) 令和2年度 地方創生推進交付金事業の効果検証について

### 和田会長

それでは、次第6. 議事(3) 令和2年度 地方創生推進交付金事業の効果検証について、事務局、ご説明をお願いします。

(資料6 説明)

### 和田会長

ただいま、令和2年度 地方創生推進交付金事業の効果検証について、事務局より説明がありました。

取り組みに対する効果検証は後程するとしまして、今ご説明があった範囲で質問等があ

れば、挙手をお願いいたします。

特にございませんか。

それでは、質疑応答を終え、効果検証に移りたいと思います。

本交付金事業は、今年度が最終年度となっておりますので、今後に向けた事業のブラッシュアップや、事業展開に関するご提案は、次の議事でお受けするとして、今は令和2年度の進捗管理・効果検証の趣旨でご意見をいただきたいと思います。

ご意見等あれば、挙手願います。

椎野委員、いかがでしょうか。

### 椎野委員

池田泉州銀行では、11月9日に八尾市と大阪府との協働で、DXセミナーをみせるばやおで開催させていただきました。

八尾市の企業はコロナ禍の中でも、技術力があって、設備投資に積極的であり前向きな企業が多いと感じています。また、企業に対する補助金等、企業へのサポート体制について、八尾市は周辺の都市と比較して進んでいると思いますし、事業経営者に向けた取り組みを行っているという印象です。

人材面が課題となる中、八尾市は外国人を積極的に採用していますが、人材育成のため、本交付金事業で実施されているようなセミナーや補助金等様々な側面から支援してもらえたら、コロナの影響を乗り越えていけるのではないかと思います。

### 和田会長

現場の経験に基づく貴重なご意見ありがとうございます。

大本委員、いかがでしょうか。

### 大本委員

コロナ禍の影響で、八尾市の事業実態が大きく一変しました。緊急事態宣言が解除されたとはいえ、多くの中小企業が原材料の高騰等厳しい環境が依然として続いています。コロナ禍以前から八尾市の中小企業には、事業承継の面で大きな問題を抱えていましたが、コロナ禍によって事業承継をあきらめた経営者も出てきています。本交付金事業のKPIについて、令和元年度から右肩上がりになっていますが、これ以上に廃業、倒産している企業があります。そこにも目を向けたうえで、ウイズコロナ、アフターコロナにおいて新規事業に対してどういったサポートができるのかを考えていくことが重要だと思います。

## 和田会長

事業承継についての貴重なご指摘ありがとうございます。

これについて、川野委員はいかがでしょうか。

## 川野委員

事業承継のサポートについては、八尾市総合戦略の基本目標5「支援機関等相談対応件数の令和2年度実績値にもありましたとおり、令和元年度実績と比較して1.5倍ほど増加しています。資料6のKPIは右肩上がりとなっていますが、相談に対してのフォローができていないのかが見えてきません。事業承継のためのサポートができていないかどうかの指標を設定することが必要だと思います。

## 和田会長

ありがとうございました。

指標として表れていない数値にも目配りしていく必要があるというご指摘でした。

河上委員はいかがですか。

## 河上委員

初めて本審議会に参加させていただいています。本交付金事業の目的が自発的なイノベーションエコシステムの構築をめざすとなっており、実施している事業やKPIがどのように設定されているかを意識して、自分なりに解釈をしようと事前に資料を見ていましたが、中身がよくわかりませんでした。

既に実施されている事業に対して言うことではないかもしれませんが、事業目的に対してこれらのKPIが適切なかどうか疑問です。デザインイノベーションの推進について、市内事業者とクリエイターとのマッチングということですが、指標が「中核支援人材数」という人の数を成果指標としていることに違和感があります。

## 和田会長

貴重なご意見ありがとうございます。

KPIの設定の考え方について、事務局ご説明をお願いします。

## 事務局

本交付金事業について、まずは事業所内で事業プランを考えることができる人材を発掘し、アイデアを発掘できる場所、オープンイノベーションの場をつくり、そこで学びを得た人たちが地域の次の起業者を育成するようにできるような事業構成となっていることから、こういった指標設定となっております。

## 和田会長

事務局からご説明がありましたが、河上委員、いかがでしょうか。

## 河上委員

限られた時間の中で効果検証をするのであれば、それなりの材料を与えていただき、私もそれを見てしっかり勉強したうえでコメントさせていただきたいと思います。

今回の資料では検証資料としては少し不足しているのではないかと感じました。

## 和田会長

ありがとうございました。

それでは伊藤委員、いかがでしょうか。

## 伊藤委員

私どもは創業支援というのはしっかりさせていただいておまして、コロナ禍でも新たに事業を興す方は減っていません。コロナ禍であるからこそ、コロナに対応したビジネスを考える方はいらっしゃいます。資料5の中で、「創業支援対象者数のうち創業者数」の令和2年度実績値が目標値に1件届かなかったというところもありました。

先ほど廃業する事業者も多いというご意見がありましたが、廃業者数を上回る創業者数が確保できれば賑わいも増していくと思いますので、創業者に対して市とともに支援を行っていきたいと考えております。

資料6について、事務局からの説明を聞いて初めて理解しました。説明を聞くまではそれぞれの要素事業が独立しているものと思っていましたが、①ビジネスプラン策定事業 ⇒ ②オープンイノベーション推進事業 ⇒ ③デザインイノベーション推進事業というように連続した事業構成となっていることがわかりました。

## 和田会長

ありがとうございました。

廃業があるけれども起業される方も多いという心強いご意見でした。

それでは、本日、皆様からご意見いただきました内容を踏まえ、会長、副会長と事務局とで調整し、効果検証の内容をまとめさせていただいてよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

(4) 今後に向けた地方創生・総合戦略に資する提案について

## 和田会長

それでは、次第6. 議事の(4)今後に向けた地方創生・総合戦略に資する提案について、事務局、ご説明をお願いします。

(資料7の説明)

### 和田会長

ただいま、今後に向けた地方創生・総合戦略に資する提案について、事務局より説明がありました。

ご説明を踏まえ、今後の八尾市における事業展開について、それぞれのお立場による独自の取り組みの提案や、市を含めた各機関の連携による取り組みの提案、より一層事業効果が高まる手法についてのご提案など、各委員より自由な発想で、ご意見をいただきたいと思えます。

ご意見等あれば、挙手願います。

野村委員、お願いします。

### 野村委員

「健康経営」について、個人で取り組んでいくには限界がありますので、企業が取り組んでいく必要があると考えています。「まちのコイン」という考え方で、例えばボランティア活動をするとコインがたまり、それを買い物等で利用できるサービスのような取り組みができればいいと考えています。

また、25~39歳の女性の方の転出が多いという課題がある中で、企業側も女性の妊娠や出産、療養、介護と仕事の両立支援に取り組んでいくべきと考えています。個人だけではなく、企業やまちぐるみでこどもを育てていくという考え方が重要だと思っています。

### 和田会長

ありがとうございました。

健康経営と女性の視点の部分で、効果が出ている取り組みをご紹介いただきました。

それでは和泉委員、お願いします。

### 和泉委員

取組①について、万博目的の来訪者を八尾へ誘致することを考えていくべきだと思えます。八尾の魅力をどのように発信していくかということですが、まずは八尾の魅力の整理が必要だと思えます。資源における魅力というのは多面性がありまして、例えば神社を魅力としたときに、神社の歴史的な部分をフィーチャーすると歴史的な資源となっていきますが、縁結びという側面をフィーチャーすると若者にとって魅力となるように、魅力の整理は必要になってくると思えます。その中で地域からのまなざしをどれだけ取り入れられるか、つ

まりいっしょに創り上げていくということです。万博がひとつのきっかけとなると思います。

### 和田会長

ありがとうございました。

地域の発信力をもっと活かせればという貴重なご意見でした。

それでは川崎委員、お願いします。

### 川崎委員

取組②で「映画のまち・やお」を取り上げられているが、中途半端になってはいけないと思います。八尾市民の絆を深めるとか地域への愛着度が高まるとかを主眼に置いてしまうと、こういったエンタメ系の取り組みは充実していかないのではないかと思います。視聴者が見たいと思う映画の中には何らかの魅力があり、その背景にある企業力や市民の絆まで見ているわけではなく、純粹におもしろいと思うものを実際に見て、その背景に八尾があったんだというものをつくっていく必要があると思います。

魅力の発信について、私ども地元のコミュニティチャンネルを持ってしまして、毎日、生放送で八尾市と近隣の市町村の魅力を発信しております。コロナ禍でロケが難しくなっていますが、Zoomを利用してできるだけ市民の生の声で発信してもらえるような機会をどんどん提供していきたいと思っています。

和泉委員からご指摘のあった魅力の整理について、このように市民の方から直接語ってもらうことではっきりと見えてくることがあると思います。そういった面で私どもも協力できたらと考えております。

### 和田会長

ありがとうございました。

魅力発信の前段階である魅力の醸成についてご指摘をいただきました。

それでは、稲葉委員、いかがでしょうか。

### 稲葉委員

求人は底堅く復活の兆しをみせておりますが、有効求職者は高止まりしている状況です。

魅力の発信ということは非常に難しいと思いますが、八尾市はものづくりのまちで製品開発力に優れた企業がたくさんあります。コロナを契機として前向きに次につなげていくという企業が多いという話は聞いております。

最近のテレビでは企業とコラボレーションした番組も多いと感じていますので、そういった面で企業の情報発信力と関わってくるのではないかと感じています。そういった企業力を活用していければいいと思います。

万博に関しては、大阪市内へのアクセスも良いので、ぜひ八尾市内にサテライト会場を作って、八尾空港や空飛ぶ自動車も含めたPRをしていければいいと思います。

映画のまち・やおについて、最近ではアニメの聖地化によって観光客が増えている地域もありますので、取り組み方によってはおもしろいものになるのではと感じています。

### 和田会長

ありがとうございました。

八尾空港やものづくりのまち八尾の強みを活かさない手はないというご意見でした。

石村委員はいかがでしょうか。

### 石村委員

取組③ 歴史資産を活用したにぎわい創出について、私は京都出身ですが、小学生の時に地元琵琶湖疏水という歴史資産があるということを知り、初めて知ったという経験があります。資料には市民が史跡について学習できるガイダンス施設を整備するとありますが、なかなか市民が集まらないと思いますので、こどもが歴史資産を学んだうえでそこで学んだことを大人に伝え、大人が周囲の人達に伝えていくことで施設の魅力を発信していくのがいいのではないかと思います。

### 和田会長

ありがとうございました。

学校教育の視点にこういった観点を入れることが大事だというご意見でした。

辰巳委員はいかがでしょうか。

### 辰巳委員

例えば取組②映画のまち・やおについて、ターゲットを明確化することが大切だと思います。少子化対策として若者をターゲットにするのか、それとも主婦層なのかによって取り組みが変わってくると思うので、現時点ではターゲットがぼやっとしていてよくわからないところがありました。ターゲットとする層が魅力を感じたら、それを周囲の人に伝えていくことで八尾の魅力が浸透していくのではないかと感じました。

### 和田会長

ありがとうございました。

具体的に固まっていない中で、若い世代が伝えていく魅力の大切さについてのご意見でした。

大本委員、お願いします。

## 大本委員

取組②、③に関係してくるところですが、魅力の創造は非常に難しいことだと思います。私も八尾市民ですが、八尾について知らないことはたくさんあります。例えば河内音頭の発祥地が常光寺であるとか、河内国二宮が恩智神社であったりとか聞いてみてそうだったのかと思うことがたくさんあるので、魅力を創造していくには過去に八尾で起こったできごとを公開していくことがいいのかなと思います。史跡だけでなく人物についてもいろいろな話を聞いて初めて知ることもたくさんあるので、それをオープンにして魅力につながっていけばいいと思います。

取組④の八尾空港西側跡地の活用について、得意先をまわっていると経営者からいろいろな話を聞くので、早めに情報を開示していくことが大切だと思います。

## 和田会長

ありがとうございました。

八尾の魅力を八尾市民に知ってもらう大切さについてのご意見でした。

時間になりましたので、意見交換はここで終了いたします。

## 7. 閉会 政策企画部長 挨拶

### 和田会長

事務局におかれましては、今後の地方創生関係の交付金事業のエントリーや、市の事業立案等の際に、本日、委員の方々から頂いた意見を参考にさせていただけたらと思います。

以上をもちまして、議事はすべて終了いたしましたので、事務局に議事進行をお返しします。

### 事務局

皆様ありがとうございました。

皆様のご見識に基づき、活発にご意見交換いただき、感謝申し上げます。

今後、本日の内容を踏まえ、今後の本市における地方創生・総合戦略の推進に活かしてまいります。

また、新型コロナウイルス感染症の感染状況によりますが、今回は、令和4年2月頃の開催を予定しております。近くなりましたら、ご案内させていただきますので、引き続き、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

それでは、閉会にあたりまして、政策企画部長 山原よりご挨拶申し上げます。

### 山原政策企画部長

閉会にあたりましてご挨拶申し上げます。

緊急事態宣言が発令されたりとなかなかお集まりいただくことができませんでしたが、

ようやく本年度第1回目の審議会開催が叶いました。

委員の皆様におかれましては、お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。ありがとうございました。

本日はこれまでの経過、昨年度の交付金事業の検証結果、今後の方向性についてさまざまなご意見をいただきました。事務局としても検討していくべきところも多々ありました。

次回は来年2月ごろを予定していますが、ひと・まち・しごと創生や総合戦略の推進に結び付けていきたいと考えています。

本日は誠にありがとうございました。

## **事務局**

それでは、以上を持ちまして、令和3年度第1回八尾市総合計画審議会を閉会いたします。本日はありがとうございました。